



キャッチフレーズ

若者から高齢者まで楽しめるまち**事業実施の背景**

普段から休日は数万人の人出で賑わう、県下随一の下町を代表する商店街。通りごとに組織された万松寺通、大須新天地通、名古屋大須東仁王門通、大須仁王門通、大須観音通、大須門前町、大須本通、赤門明王の8つの商店街振興組合が、大須商店街連盟を構成、大須の町全体でイベントや各種事業に取り組んでいる。現在の賑わいからは我には信じがたいが、昭和40年代には、交通アクセスが先行して整備された名古屋、栄に人出を奪われ衰退の一途を辿っていた。しかしながら、その状況を憂いた若手商業者が一致団結して集客イベントを実施、大成功を収め、現在の繁栄の礎となった。

事業の概要**【大道町人祭】**

大須で行われる数多い行催事の中でも、最大かつ特徴的なイベントが、毎年10月に開催される「大道町人祭」。昭和53年に始まり昨年で30回を迎えた名古屋の一大イベントである。例年30万人を動員するが、30回目の節目となった昨年は、さらにパワーアップ、例年を上回る賑わいとなった。お客と同じ目線となる路上をステージとして、大須の町のあちらこちらで、花魁道中や数々の大道芸が繰り広げられ、来街者を堪能させる。





その他の事業

この他にも、大須夏祭りなど各種行事、電子マネー、情報量満載の大須を楽しむマップ頒布、AEDの設置など数多くの事業に、連盟として一体となって取り組んでいる。

事業の効果

- ・ 大道町人祭の成功をきっかけに、若手を中心に多くの経営者たちの大須の街の活性化に向けた意識が大きく変わった。その後も、季節ごとの祭りや様々なイベントを継続して展開、アメ横の進出によるパソコン街の形成や若者をターゲットにしたファッション街の形成などの動きをうまく結びつけ、各要素の相乗効果により現在の賑わいにつながっている。
- ・ 大道町人祭の実行委員長は、毎年若手経営者の中から選任され、一度しか経験できない。この仕組みが、商店街を支える人材の育成にもつながっている。

事業の課題

一時のパソコンブームが去り、人の流れにも変化がみられる。常に新しい時代の潮流に対応し、怠ることなく、古くて新しいごった煮の街「大須」の商業地、賑わいの地としての魅力づくりに取り組んでいく。

商店街の基本データ

名称：大須商店街連盟 会長 小野章雄
 (万松寺通、大須新天地通、名古屋大須東仁王門通、
 大須仁王門通、大須観音通、大須門前町、大須本通、
 赤門明王商店街振興組合)
 所在地：〒460-0011
 名古屋市中区大須3-38-9
 電話：052-261-2287
 構成員：約370名
 URL：http://www.osu.co.jp/

